

## 例会司会者が留意したいこと

例会場が安全で平等な空気に包まれたとき、参加者は心を許して酒害体験を聞くことができ、心を開いて酒害体験を語ることができます。そんな例会の安全で平等な空気をつくるために司会者は大きな役割を果たします。

自覚を持って司会をしましょう。

例えば

- 司会者の役割は発言者を指名することです。  
また、タイムキーパーでもあります。
- 発言者の顔を見て、発言を誰よりも一生懸命聞きましょう。
- ◎●原則として発言に対してのコメント、アドバイスは禁止です。
- ◎●指名順を考えましょう。



- ① はじめに発言した人に影響を受け、より深い酒害体験が語られることはよくあります。自己洞察が深く、飾ることなく酒害体験が語れる人から始めましょう。
  - ◎② 2～3人の発言の後、新しい人、問題を抱えている人を優先して指名しましょう。
  - ◎③ 苦しんでいる人がみえたら、それに基づいた酒害体験が出来るような人を指名しましょう。
- ただし強要はいけません。自然な流れが何よりも大切です。
- ◎④ 発言者の心を読み取る努力をしてください。そして指名順を工夫しましょう。その努力がなされ続けていけば、必ず素晴らしい例会となります。

### ●発言が長い場合の対応



- ① 酒害体験が語られていれば、持ち時間が過ぎても聞きましょう。
- ② 話すことに不慣れな人は発言内容が繰り返され、長くなることがあります。  
その人を傷つけないように「すみませんがそろそろまとめていただけないでしょうか」と声をかけましょう。
- ③ 心の苦しみをおさえきれずに吐き出す人がいます。たとえどんなに長い発言になろうとも、たとえ何度同じ内容が繰り返されようとも、その人の心の状態を思いやり聞き続けましょう。

### ◎ ●司会者は学習し、経験を重ね、司会力を身につけましょう！

司会力を上げることで、みんなが何度も参加したくなる例会が生まれ、やがては、より素晴らしい断酒例会が出来るのです。